



お盆やお正月、たまに孫育て

たまにまご育て

「帰省から戻るとぐったり」 ～お疲れTさん27歳のお悩みより～

パパの実家は農家のため、お正月やお盆の他に田植えや稲刈りの時期にも帰省します。行くと、1週間は滞在するのですが、義母は農業をしながら地域の仕事もし、滞在中に「何か手伝います」と言っても「座っていいから」とバタバタと家事をこなしています。目の前で忙しそうにしているのに、何もしなくていいと言われるとかえって疲れてしまい、帰省から戻るとぐったりして必ず熱を出して寝込みます。嫌なことがあったわけでもないのに、帰省が辛く感じてしまいます。



違う人間どうしですから、ゆっくり関係を作っていきます。

じいじ・ばあばの気持ち



パパ・ママの気持ち



ばあばの気持ち

台所は私のやり方があるし気をつかうから、ママに手伝ってもらうより自分でした方が楽です。ママもゆっくりしてて!

ママの気持ち

ゆっくりしてって言うけど、本当はお料理くらいやった方がいいのかしら? 邪魔なのかな?色々考えてかえって気をつかっちゃう。

家事などは、適度な作業分担を

じいじ・ばあばには“自分のやり方”や、“昔からそうしている”ことがあるかもしれませんが、家の人が目の前で忙しそうに動いているのにお客様でいるのも気をつかうものです。手伝ってもらえそうなことは、願ってみましょう。手を動かしながらだと会話も弾むし、パパ・ママから新しい家事のやり方を教わるができるかも。家の雰囲気はこれからみんなで作る気持ちで。

- 作業を通してお互いを理解し合おう
- 適度な家事が、緊張したママの居場所になる場合も

ばあばの気持ち

息子は仕事と子育てで疲れているみたいだし、実家に来たときくらいは、ゆっくり休ませてあげたいよ。

息子の好物も食べさせたいし、孫たちにもばあばの味を知ってほしいからね。うちは孫がいっぱいで大変だわ〜(嬉)

パパの気持ち

実家に行くと両親が喜んで子どもを見てくれるし、ゆっくりさせてもらってます。甘えるのも親孝行!

ママの気持ち

私がこんなに気をつけているのに、パパはお義母さんに甘えてて、腹が立つわ〜

帰省時のパパの役割は?

たまに行くパパの実家。パパのゆっくりしたい気持ちもわかるけど、最初のころは、ママにとっては文化の違う外国へ一人で乗り込むくらいな感覚。異文化交流ができるまでは、ママの味方になりながらアシストを。ママは、年齢の近い親戚ママに、いろいろ相談してみてもいいかもね。

- 親戚・親族内だけで話が盛り上がってしまったら、さりげなくママにも気を配って!
- すぐに打ち解けられないからといって焦らないで! 時間をかけてゆっくり関係を育もう

じいじの気持ち

普段は年寄り二人だから、食費も生活費もあまりかからないけど、息子夫婦と孫の笑顔に財布の紐が緩んでしまったよ。食事代、おもちゃ代、お年玉...そろそろ年金生活になるから、今後はきつそうだなあ...

パパ・ママの気持ち

帰省にかかる交通費、お土産...結構お金がかかるけど、行っちゃえば食費もかからないし、たまにだから甘えちゃおうかな。子どもたちも、お年玉やおもちゃを買ってもらえるから楽しみにしているし。

両方ともお金の負担が大変

毎年の事なので、話し合いをしてみてもいいかも。お土産をやめてその分を食事代にまわすアイデアもアリですよ。帰省で増えた人数分の食事を毎食作るのも大変。この日はパパ・ママが食費を出して作るとか、この日は外食に行くとか、負担にならない新しいルールを提案し合うのもいいかも。

- 毎年の習慣でも、自分たちの金銭感覚に合わなければ、話し合って改善してみよう
- 滞在期間が長い場合は、じいじ・ばあばの負担になっていないか気づかってみてね

